

属する。精神は complex living system の新生財産であり、全体的な方法でそのようなシステムが実験される時にのみ存在する。この報告書は健康影響評価に精神的な次元を取り込むための試みでクロスパラダイムに向けた最初の理解を提供する。

Thurrock の迅速な健康影響評価ツールの修正

イギリス

HIA は Thurrock で立法上存在したり、監視あるいはその他の規則などの手続きをサポートして称賛することを保証するために、HIA プロセスに現在の普遍慣例を立て全体的なフレームワークを提供するツールを作った。政策、プロジェクト、プログラムの肯定的な効果と否定的な効果を許容するツールの構成マトリックスは質的及び量的な方法を使用し、評価されるだろう。使用者は健康に否定的あるいは肯定的影響、または予想される推測の可否、現存する証拠や政策データの検討後発表する。評価は開発前、開発、中止された状態あるいは政策、プロジェクト、プログラムで行なわれる(計画、製作、実行、次の製作実行)。加えて、HIA に提供するために使われる現存の知識、義務的な報告書、調査、証拠を許容する。マトリックスの完成で、HIA の結果として行なわれたものに関するフィードバックを提供し必要であれば HIA 報告書は評価結果のアウトラインとして使われ修正あるいは今後の行動のため推奨する。

Thurrock の生存戦略の質での迅速な HIA

イギリス

スウェーデン議会の政策評価ツールの修正バージョンを使用した生存戦略の地域団体の本質的な健康影響評価

ラップアラウンド:全てのものを含んだラップアラウンド計画の HIA

イギリス

ラップアラウンドの目標は、障害を持つ児童を社会に引き入れるために、彼らの潜在力を最大化させる社会的な健康及び教育的サポートを提供するサービス及び適切な場所の情報及び評価に接近するものである。

サウスポート(Southport)薬品防止イニシアチブでの HIA

イギリス

単独改革予算の薬品防止イニシアチブでの健康影響評価。

移住及び健康：国際的論文の再調査

イギリス

この報告書は国内外移住及び健康に関する主要論文等の包括的な再調査である。採択された報告書は国際的な移動の中の国内移住及び4つの小グループに別けて要約された。「全ての原因及び心臓血管疾患による死亡率」「癌による死亡率」「メンタルヘルス」「疾病率、危険要素等と人体測定学」この再調査は世界的に国外移動あるいは国外移動の多数の移動グループ等の疾病率及び死亡率を調べたものである。国外のそれぞれ異なる移住グループ等のパターン及び輪郭には差があるが、一般的なテーマは差が無く明白だった。

5番目のフレームワークプログラムの特定プログラムでの性別影響評価

ヨーロッパ-2001

90年代中盤、ヨーロッパ議会は調査及び調査政策の範囲内で性別の次元を導入した過程を進めた。このような状況でヨーロッパ議会は性的問題点が5番目のフレームワーク(FP5)内で解決される方法の評価を意図した性別影響評価実行(GIA)を2000年6月から2001年4月まで着手した。

研究内での性別

ヨーロッパ

このプログラムは5番目のフレームワークプログラム(1999-2002)の下で実行された。

HIA：健康決定要因、健康上の地位及び干渉に対する世界公衆衛生での戦略的管理理論の適用

1999-連合

公衆衛生の領域で、戦略的管理理論の適用及びre-engineering 健康システムと効率性追求に焦点をおいた戦略的管理理論の適用がどれ程独占的なのかに対する記事である。

世界的健康広報のための初期計画の更新に関する今後の論争時、より組織的で革新的な基盤を提供するために健康決定要因、健康上の地位及び干渉に概念的な戦略モデルの適用を調査することが目標である。

精神及び健康：健康影響評価にメンタルヘルスを取り入れるための最初の提案

タイ

本報告書はトーマス・クーン(Thomas Kuhn)の科学的パラダイムの概念により、健康の精神的な次元に関する現在の理論を調査する。これは内在する2つのパラダイムの不一致によって健康影響評価の計画に構成要素として精神を含めることが難しいということを示唆する。Newtonian(ニュートン学説)と Cartesian(デカルト哲学)のパラダイムにより支配される科学的な思考の主流は精神の還元主義的、唯物主義的な世界観が特徴である。このパラダイムで全体的な complex (生態学的システムあるいは生物)は約分でき、その構成要素の客観的な実験及び測定でのみ説明することができるものと見られる。言い換えると、このパラダイムで全体は精神の部分の特性により理解できる。人生の側面として精神は全的に異なる存在論的、認識論的仮定の思考の異なるパラダイムに属する。精神は complex living system の新生財産であり、全体的な方法でそのようなシステムが実験される時にのみ存在する。この報告書は健康影響評価に精神的な次元を取り込むための試みでクロスパラダイムに向けた最初の理解を提供する。

影響評価、HIA と地域権限拡大

タイ

環境的行動主義はタイで民主主義及び地域権限拡大をもたらした社会運動の必須不可欠な部分だった。影響評価は初期に無関係な開発で進められたが、現在の状況から見る時、関連があると思われる。本記事は HIA-最新 IA 開発に関連した意見を含む影響評価と地域権限拡大の間の疫学上の簡略な分析である。本記事はタイ政策の興味深い歴史的考察及び社会的行動主義及び地域権限拡大の強い欲求がどのように生じるようになったのか、示している。タイの EIA プロセスの説明は変化への提案にしたがって提供されている。本記事はまた地域権限拡大と関連した HIA のための挑戦を提示すると同時に地域権限拡大を達成するための HIA の役割を提供する。

タイにおける健康影響評価の開発：最近の経験及び挑戦事例

タイ

本記事は、大きな意味はあるが実行するには難しい状況にあるタイでの健康影響評価の開発を説明する。本記事は National Health Act(国家保険制度)の制度プロセスにしたがってど

のように national health system の改正が行なわれたのか説明し、タイが環境影響評価に構成要素を取り入れるより公衆衛生政策の開発による HIA 開発を選択した理由を説明する。タイの HIA 議会が直面した挑戦は話し合いにより最近の経験は共有される。

タイの HIA

タイ

数年前、タイの健康上の多くの利益は不確実な経済成長及び不安定な開発による部分的な減少が現れた。1997 年に社会構造改革のための強い要求を引き起こし、健康のパラダイム変動の引き金となった経済危機と国家政治改革が同時に起こった。HIA はこの急激な革命の中で政府と市民社会の衝突における調整の基本手段として浮き上がった。現在政府は容易に解決できない困難な問題と直面している。一度の接近で充分だと思われる問題や論争においては、複雑ではあるが権威的だとか遮断されているようには見えない。HIA により着手された幅広い利害関係者との協力を代り、市民、企業及び政府は持続可能な開発の達成を試みる。本記事はタイの公衆衛生政策の協議及び健康改善、政策的な改善に対して説明する。また HIA 協会及びネットワークの役割及び開発に対して議論している。

ロンドンの環境及び健康：ヘルシープラネット(Healthy Planet) 討論及び健康と環境に関する第 3 回ヨーロッパ閣僚会談の記録の報告書

イギリス

この報告書はロンドン市民の健康に関するデータ提供及びロンドン市民の健康に影響を及ぼす要因に関するデータを提供する。

HIA と不平等：人口焦点あるいは地域ベースのアプローチ

イギリス

この記事は不平等な大衆政策の影響を評価するために使用可能な方法と HIA に対し調査する。これは本来の業務から現れた様々な教訓と実行された HIA 作業の広い背景知識、イギリスで既に着手された HIA 作業の広い背景知識及び政策項目のアウトラインである。

HIA が精密な調査プロセスにおいてどのように貢献しているのかに対する論文

イギリス

HIA の何がどのように評価のツールとして適用されているのかに関する記事。

HIA での健康専門機関設立のための提案

イギリス

2001 年 3 月、HIA に健康専門機関設立の草案がドンカスター (Doncaster) で作成された。提案には地域及び国家資源の要約及びツールのアウトラインが含まれている。背景情報：保健当局は地域団体あるいは環境団体に提出する計画されたアプリケーションの健康影響力のような説明を要求するだろう。また NHS 政策及びプロジェクトがそれらの予想影響力の上で実行された HIA を実行しなければならないという期待を持つ。

結論：提案は管理チームに提出されずテストされたり評価されない。しかし今後 HIA のための地域資源として残され、HIA 主要活動で初期範囲の資料として使うことができる。

健康影響評価 (An idea whose time has come)

イギリス

保健当局は、健康な市民のためのイギリスの戦略で、政府政策が健康に影響を及ぼし、適当な時を考慮してその結果は健康のために評価が必要だということをはっきりと認めた。

1 イギリスだけではない：評価の実施はまだらではあるが、健康影響評価の考えはほぼ世界的にポピュラーである。発展途上国など公衆衛生政策が重要な所ではよく理解されているが、資源割当政策の健康影響力の将来の評価あるいは開発プロジェクトは特別変わったことはない。

23 しかし発展途上国での健康影響評価のための承認要求は相変わらず初期段階にとどまっており、評価手段、方法、適用も構築も今だ残っている。

現在は科学団体が公衆衛生に影響を及ぼすプロジェクト、個人政策、公衆の役割について発表する。

HIA の技術要約報告

ヨーロッパ

クロス・セクトラル(分野横断的)アクションは健康を改善して平等を達成するための重要な価値をもつ。健康影響評価(HIA)は健康のためのクロス・セクトラル・アクションをサポートする手段であり、実際の発展は HIA を適用する WHO のヨーロッパ地域で行なわれた。地域(ヨーロッパ共同体を含む)の開発は健康システムに対する案件に HIA を取り入れ、その他の領域の案件で

も健康を取り入れた。HIA の技術要約報告は HIA の現在の経験と接近を検討するために第 52 回地域議会が行なわれる間進行し、今後の動向調査及び HIA 開発をサポートするためにヨーロッパ地域会議が行なった行動の概要である。この記事は技術要約報告の背景情報を提供する。

HIA の概要：臨時紙の No.1

イギリス

この報告書は地域で HIA に対する関心が大きい時に作成されたものである。この報告書の目的は地域の新しい2つの組織-公衆衛生監督(Pho)と健康開発協会(HAD)がどのように貢献するのか、そしてこれまでどういふことをしてきたかを調査する。

Espoo Convention SEA protocol の交渉初期に提起された健康領域の行動及び論争のための

現政策の問題

ヨーロッパ

政策決定者のための SEA の政策開発で関連した HIA の潜在的な恩恵及び HIA の主要様相に関する要約報告。

予防の原則：公衆衛生、子供及び障害者の保護、持続性

ヨーロッパ

世界の自然界で健康及び環境を脅かす特徴はさらに複雑であいまいになり、予防原理に対する論争は増加している。人類及び生態系の健康は深刻であり、元に戻せない脅威あるいは科学的に不確実だと認められる場合に予防の原理は予防策を先送りする理由として使われることができないことを説明する。このような要求を説明するための試みの方法として本資料に HIA を使用した。

戦略的環境評価での健康影響評価

デンマーク

このチラシは HIA の方法論的側面の要約、SEA の一部分として HIA 統合の原理及び効果、今後の行動の暗示的要約。

イズリングトン(Islington) ロンドン・バラ(London Borough) のレジャーサービス契約の迅速な評

価

イギリス

本報告書はイズリングトンのロンドン・バラのレジャーサービス契約のための主要段階の要約及び HIA の統合された要素の tendering process への接近の結果。

提示された Braunstone leisure centre の HIA

イギリス

提示されたレジャーセンターに関する HIA

近くの情報技術センターの HIA

イギリス

ウィラル保健局(Wirral Health Authority)は健康での利益を最大化させるため本 HIA に委任した情報技術センターの健康の利益を確実にすることを願った。

Parr の選択したスポーツセンターの健康影響評価。観察報告シリーズ No.49

イギリス

本 HIA は Parr レジャーセンターの開発と関連して考慮する環境、輸送、地域共同体に関連した問題のハイライト。多くの推薦が議会で提示され、「貴方の活力を見つけてください(Get Yourself Lively!)」と呼ばれる健康生活の推進提案の開発を助けた。

公開と閉鎖のケース: グラスゴー(Glasgow) のとなりの 2 地域の公共プール条項の健康影響調

査

イギリス

居住者等の報告が健康にどのように連結されるのか、そして地域公共プールにどのように接近しているかについて調べるために研究された。南グラスゴーの二つの類似した地域が本研究に加えられたが、一地域のプール(Pollokshaws)は最近閉鎖された反面、もう一つの地域の新しいプール(Gorbals)は最近開かれた。

迅速な HIA: ブレントフォード (Brentford)、チズウィック & アイルワース セーフ (Chiswick & Isleworth SAFE) の健康生活センター提案

イギリス

steering グループは確固とした資金適用の開発のため、初期提案の迅速な健康影響評価を進めるための 1 日ワークショップ開催の提案を受諾した。このワークショップは潜在する否定的効果を最小化させるための処置、潜在する健康改善の最大化のための方法を知らせるため、提案が開発段階にある時開催される予定だった。この報告書は SAFE 健康生活センター適用の精密化のための推薦を引出す議論及び着手過程を説明する。

アリスバリー (Aylesbury) Plus: 共同体のための新しい政策-迅速な HIA

イギリス

共同体構造計画 (Communities Delivery Plan) のため Aylesbury Plus New Deal により予測される健康影響評価の要約。

ランベス (Lambeth)、サザック (Southwark)、ルイシャム (Lewisham) の保健当局の健康投資プログラムの迅速な評価

イギリス

本プロジェクトの目標は 1 日の勤務時間内での市民の健康に関する LSLHA 提案の健康投資プログラムの影響の迅速な評価である。

ランベス (Lambeth)、サザック (Southwark)、ルイシャム (Lewisham) の保健局の投資プログラムの迅速な評価

イギリス-2001 年 2 月

本プロジェクトの目標は 1 日の勤務時間内で市民の健康に関するランベス (Lambeth)、サザック (Southwark)、ルイシャム (Lewisham) の保健局が提案した健康投資プログラムの影響の迅速な評価である。

ウェールズ (Wales) の国立植物公園の HIA

ウェールズ-2000 年 5 月

ウェールズの国立植物公園はウェールズの価値ある資源を作るために多くの資金及びその他

の資源の投資を伴った有名なプロジェクトである。

Thurrock の道路安全戦略での迅速な HIA

イギリス

スウェーデン議会政策評価ツールの修正バージョンを使用した地域議会及び地域運送計画の迅速な健康影響評価。

Thurrock の地域運送計画

イギリス

スウェーデン議会政策評価ツールの修正バージョンを使用した地域議会及び地域運送計画の迅速な健康影響評価

Alconbury 空港の HIA

イギリス

提案された Alconbury 飛行場の開発は完工に 5 年-25 年の期間を必要とするヨーロッパ最大の道路及び鉄道、航空物流センターのためのものである。関心市民内で潜在する健康影響力のための初期検査で人間の健康及びウェルビーイングのための肯定、否定的な結果を確認した。場所の利用により発生する大部分の否定的な影響のため、この報告書で調査される人口は提案された開発を取り巻く Stukeleys 区(人口 4270)内で生活する人々と定義された。明確に、より多くの市民は道路ネットワーク及び環境に及ぼすその他の影響のためにも考慮される。AHIG の目的は、グループに利用可能な資源内の発展の肯定的・否定的な健康影響の検討及び大衆質疑での保険局提案の基礎形成に報告書を作成することである。

HIA- 共同体のための手段

イギリス

コベントリー (Coventry) のライトン・オーガニック・ガーデンズ (Ryton Organic Gardens) 会議センターで 2000 年 4 月 18 日に開催されたセミナーの報告書。

HIA のための地域運送計画

イギリス

地域運送計画における HIA

マーゼーサイド(Merseyside)統合輸送戦略の予想 HIA-メリット

イギリス

HIA はリバプール(Liverpool)保健局により委任された。そして複合の機関に代わって実行された。

将来の自動車の迅速な HIA-総合報告

イギリス

イギリス内の将来の車両戦略の迅速な健康影響評価。これは *alternatively powered* 車及び設計過程に関する実際練習及び新しい自動車技術の開発及び実証のために立てられた政府後援の戦略である。この迅速な HIA の目的は広い条件で戦略の健康影響力を説明し、今後広範囲な HIA の調査のための適切な地域を検討するものである。

将来の自動車の迅速な HIA-行政上の概要

イギリス

イギリス内の将来の車両戦略での健康影響評価。これは *alternatively powered* 車及び設計過程に関する実際練習及び新しい自動車技術の開発及び実証のために立てられた政府後援の戦略である。

学校プロジェクト(SRTS)でのスクールゾーンの基本のための HIA

イギリス

学校プロジェクト(SRTS)でスクールゾーンに関する HIA の着手及びそれに伴う関連介入等の根拠の学問的な研究のための実質的なツールキット。

運送政策の健康影響評価のためのガイドライン

ヨーロッパ

影響評価のために国際機構の年次株主総会(IAIA)で提供された抽象的な報告書。

統合された影響評価の使用

オーストラリア、1995年6月

1997年11月20日 議会両院は国家的なプロジェクトである、プリンセス埠頭 (Princes Wharf) に国際的なクルーズライナー総合ビル (cruise liner complex) の開発及び運営のために Oceanport Hobart Pty 社の提案に対する政府の要求に承認した。持続可能な開発の顧問委員会は 1993年タスマニアの国家政策及びプロジェクト下で要求されたものと同じプロジェクトの統合評価実行を要求した。1998年1月1日以後、オーシャンポートプロジェクトの評価は新しい資源計画及び開発委員会の下で続いた。統合評価は Oceanport Hobart 社に環境的、社会的、経済的そして本プロジェクトと関連した共同体の影響力が説明された統合影響声明書 (IIS) の準備を要求した。最終案内書の草案は IIS-考慮された主要問題等の準備で支持者を助けるために提供された。支持者はこの案内書にともなう IIS 準備が要求された。RPDC はプロジェクトを進行させないことを提案する報告書を 1999年2月23日に議会に提出した。

道路のための環境影響評価において健康の様相を考慮

スウェーデン

スウェーデン国立保健協会のこのデータは運送、環境、健康に関する憲章実行に重要な貢献をすることを意味する。実際事例の批判的分析に基づいて、この報告書は運送と関連したプロジェクトの健康影響評価の練習及び方法論的な今後の発展のための重要な指標を提供する。

Rotherham Sheffield M1 Corridor 計画調査での健康影響評価

イギリス-2001年1月

ロザラム・シェフィールド (Rotherham Sheffield) M1 Corridor 計画調査は地域の経済開発を知らせるために依頼されたものである。Lower Don Valley の輸送開発及び今後の計画と、現地域共同体のウェルビーイングに関する可能性ある影響力を調べる。

Alconbury 空港の HIA

イギリス-2002年2月

提案された Alconbury 飛行場の開発は完工に5年-25年の期間を必要とするヨーロッパ最大の道路及び鉄道、航空物流センターのためのものである。関心市民内で潜在する健康影響力のための初期検査で人間の健康及びウェルビーイングのための肯定、否定的な結果を確認した。場所の利用により発生する大部分の否定的な影響のため、この報告書で調査される人口

は提案された開発を取り巻く Stukeleys 区(人口 4270)内で生活する人々と定義された。明確に、より多くの市民は道路ネットワーク及び環境に及ぼすその他の影響のためにも考慮される。AHIG の目的は、グループに利用可能な資源内の発展の肯定的・否定的な健康影響の検討及び大衆質疑での保険局提案の基礎形成に報告書を作成することである。

Alconbury 空港の HIA 評価報告書

イギリス-2000 年 9 月

1999 年 CHA は Alconbury 空港開発で提示された健康影響評価の外部評価に着手するために保健省から ACET 議会に資金を確保した。この報告書は健康影響評価方法の評価を提供するために作成された。

輸送と健康の交差点：輸送の健康への影響力

ニュージーランド-2003 年 4 月

運送と健康の交差する点を調べたニュージーランド公衆衛生顧問協会による背景の報告書である。この報告書は輸送による健康上の肯定的及び否定的な影響の多様な証拠を要約している。この報告書は輸送がもたらす複数の直接、間接的な健康上の影響を証明する。

Finningley 空港の健康影響評価

イギリス -2000 年 9 月

1999 年 11 月 ドンカスター・メトロポリタン自治議会 (Doncaster Metropolitan Borough Council) に提出された Finningley の元 RAF 航空基地を商業用空港に開発するための計画申請での健康影響評価である。計画は 2014 年までに 200 万名以上の乗客及び 62,000 トンの移動を提示する。

輸送に関するロンドン市長の戦略

イギリス- 2002 年 10 月

市長の義務の中の一つに、ロンドンを発展させるための 8 つの法的義務がある。それは運送、経済発展、大気環境、生物学的多様性、周辺騒音、ゴミ処理、文化、空間の発展である。市長はエネルギーに対する 9 つ目の戦略を追加した。大ロンドン議会 (The Greater London Assembly) は 全てのテーマが市長の戦略に含まれることを証明する監督的役割をする。The

London Health Commission(ロンドン保健協会)は大ロンドン議会の環境委員会(the Environment Committee of the Greater London Assembly)と協力して市長の全ての戦略に関する健康影響評価(HIAs)の完成を約束した。また市長は、大衆討論のための資料が消える前に HIA からの推薦を具体化させることを約束した。

広範囲な HIA の実行：潜在力及び制約性(Finncingley 空港の HIA 事例研究及び論文研究)

2001 年-イギリス

この調査の目的は保健当局がどのような項目で HIA 実行が要求されているかに対して検討してドンカスター(Doncaster)で提起された商業空港のための広範囲な HIA の教訓を得ることである。

Alconbury 空港開発の健康影響評価：ケンブリッジシャー(Cambridgeshire)保健当局のための評価報告書

2001 年 2 月- イギリス

ニュージーランド - 運送における健康影響力のための証拠

ニュージーランド-2002 年

運送は現代経済社会において重要な部門を占めているが、車両の早い移動及びエネルギーは健康における影響力の最小化のために管理を必要とする健康上の危険を作ることもある。ニュージーランドの運送活動に関する技術的な統計データは交通事故による負傷の存在を確認し、それに関する相対的に広範囲な統計値である。しかし調査からデータ使用の不平等及び差が発見された。輸送と関連した危険要因を除いて、大気汚染、騒音のような間接的な危険及び暴風雨-水質汚染などその他の環境的な危険を誘発した。さらに個人の自家用車での移動は生活の中での運動量を減少させ、主要道路は地域の結集力を 縮め社会的な孤立を招いた。全てのこのような要因は潜在的な健康の結果をもっているが、ニュージーランドの研究では健康上の危険の定量が制限される。しかしこの報告書は今後の研究にプラスになる問題を検討する。

レグニツァ(Legnica)の特別経済区域でのゴミ処理場の EIA の事例研究

ポーランド-2001年 7月

EIA 過程の健康に関する考慮事項を加えた事例研究。

プロジェクトの目的は元ソ連空軍軍事基地にゴミ埋立場の設立にある。

ゴミ処理に関するロンドン市長の戦略

イギリス- 2001年 10月

市長の義務の中の一つに、ロンドンを発展させるための 8 つの法的義務がある。それは運送、経済発展、大気環境、生物学的多様性、周辺騒音、ゴミ処理、文化、空間の発展である。市長はエネルギーに対する 9 つ目の戦略を追加した。大ロンドン議会 (The Greater London Assembly) は全てのテーマが市長の戦略に含まれることを証明する監督的役割をする。The London Health Commission(ロンドン保健協会)は大ロンドン議会の環境委員会 (the Environment Committee of the Greater London Assembly)と協力して市長の全ての戦略に関する健康影響評価(HIAs)の完成を約束した。また市長は、大衆討論のための資料が消える前に HIA からの推薦を具体化させることを約束した。

European Policy Health Impact Assessment (EPHIA)の開発背景

産業医科大学 公衆衛生学教室 藤野善久

はじめに

本稿では、HIAの標準的ガイドラインとして認識されている Merseyside modelの開発者である Scott-Samuelら、および IMPACTが開発に関わった European Policy Health Impact Assessment (EPHIA)の開発経緯について記載する。EPHIAは、とくにEUの政策を対象にしたHIAの標準的ガイドラインとしてシステマティックに開発された経緯があり、基本的な骨格は Merseyside modelと同じにしているが、多国的に実施されたパイロットスタディに裏付けられており、多様な状況下での使用に際して柔軟性を備えている。また、EPHIAは開発プロセスが文書化され公開されているため、今後のHIAガイドライン開発に際して参考とするところが大きい。本稿では、EPHIAの開発経緯について紹介する。また、本稿における記述の多くは、Policy Health Impact Assessment for the European Union: Final Project Report: August 2004 (Debbie Abrahams, et al.)を出典とする。

EPHIA開発プロジェクト背景および目的

アムステルダム条約(EC, 1999)第152条では、人の健康は全ての加盟国および地域の政策および活動の定義と実装によって守られることを確実とするための欧州連合(EU)のコミットを明言している。さらに、欧州議会および欧州理事会による公衆衛生分野における決定提案(欧州委員会、2002a)には、「健康影響調査の方法論および関連する分野の発展を支援する(欧州委員会、2002a、目的4.2)」こと、および「加盟国の政策および行動の健康影響に関するパイロットプロジェクトを支援する(欧州委員会、2002a、目的4.3)」が含まれた。欧州委員会健康消費者保護総局は、2001年提案要求(2001/c 147/06)に従い、イギリス、ドイツ、アイルランド、オランダの健康調査研究者と実践家チームに出資した。委託事項はEU政策決定に利用する健康影響調査(HIA)の一般的方法論の開発であった。

これらの要請を受け、IMPACT(国際健康影響調査コンソーシアム)は、EUの政策策定において欧州共同体およびその研究機関において用いられるHIAの方法論を開発するために、ドイツ、アイルランドおよびオランダのパートナーと協力して開発に着手した。EPHIAの開発は欧州共同体およびその研究機関に向けて展開され、EUの政策が人間の健康に与える影響の調

査を評価または管理するガイドラインを提供している。さらに HIA 実践家や管理者にとっては、加盟国レベルでの EU 政策の発展にも適用できるものである。

EPHIA プロジェクトの目的

- ・ EU の政策と活動の HIA に関する標準かつ一般的方法論の開発
- ・ この HIA 方法論の選択した EU 政策への適用
- ・ セミナーや出版および高レベルブリーフィングによって、獲得された発見および教訓を欧州全土に積極的に普及すること

開発方法

EPHIA の開発に際しては、以下のプロセスに従い、システマティックなアプローチが用いられた。

- ① HIA に関する方法論、ツール、文書の広汎な調査と収集
- ② 収集した資料からの HIA ツールの選択を進めるための HIA 分類フレームワークの開発
- ③ 分類フレームワークを用いた HIA 文書の検討と分類
- ④ HIA 文書の合成に従ったドラフト EPHIA 方法論の開発
- ⑤ パイロットケースのための EU 政策の選択： 欧州雇用戦略をパイロット政策として選択
- ⑥ ドラフト EPHIA を用いた加盟国および EU 全域でのパイロットケースの実施
- ⑦ ドラフト EPHIA 方法論のシステマティックな評価
- ⑧ HIA パイロットケースの経験に照らした EPHIA 方法論の洗練

① HIA に関する方法論、ツール、文書の広汎な調査と収集

調査の第一段階として、過去に実施されていた HIA に関する報告書およびガイドライン等を広範な地域から収集した。以下の国と機関が、過去 5 年間の国家的あるいは地域的レベルでの健康影響調査活動が知られているという基準で、健康影響調査方法論の調査対象として選ばれた。最終的に、160 以上の健康影響調査文書が内容分析のために集められた。

表 1 健康影響調査方法論調査対象となった国、地域および機関

国	地域	機関
イングランド	東ヨーロッパ	WHO (ブリュッセル、コペンハーゲン、ジュネーヴ、ローマ) 欧州委員会 欧州健康推進機関ネットワーク
ウエールズ	北アメリカ	
北アイルランド/アイルランド		
スコットランド		
ドイツ		
オランダ		
スウェーデン		
フィンランド		
フランス		
デンマーク		
タイ		
オーストラリア		
ニュージーランド		

② HIA 分類フレームワークの開発

収集した資料からの HIA ツールの選択するための HIA 分類フレームワークが開発された。そこで開発された分類基準は以下のように定義された。

表 2 分類基準

基準	例
政策／プロジェクト項目	物理的環境、社会経済的環境、焦点となる個人または家族、多次的
分析タイプ	政策、プログラム、プロジェクト
分析レベル	国際的、国内的、地域的、ローカル
コミッショナー	公共部門、民間部門、またはボランティア(NGO)部門
健康影響調査方法論の視野	主に質的側面、主に量的側面、「混合」(質量両面を含む)、健康保全、健康増進
健康影響調査の時期	事前(健康影響調査以前、政策計画段階での健康影響調査)、同時(政策検討段階での健康影響調査)、事後(健康影響調査以降、政策終結段階での健康影響調査)
健康影響調査の深度	スクリーニング、速度重視、包括的
健康影響調査の方法	政策分析、プロファイリング、文書審査、主要当事者分析、健康要因／危険因子の変化の認定、予後の認定、健康経済分析、根拠の評価
健康影響調査のツールとツールの視野	ツール:行列、因果経路ダイアグラム、公衆衛生の要約的計測。ツールの視野:「根拠の強度」評価、「母集団および亜母集団」影響評価(微分分布)、スケール、「影響可能性」評価、潜伏期間、影響の優先順位、健康影響調査と健康の不平等。異なった母集団または弱者集団に対する健康影響の明示的評価
健康影響調査と公衆の参加	コミッショナー、評価社または当事者としての健康影響調査プロセスへのコミュニティの明示的参加
健康影響調査手順	スクリーニング、参照項目、運営団体、反復評価プロセス、交渉勧告、健康影響調査評価(意思決定に影響を与えた効果、健康影響の予測または評価の有効性)

表 3 質的基準

基準	例
透明性	方法および手順の明白かつ開かれた記述
客観性	全ての影響と勧告の進展に対する公平な評価(すなわち政策等に対する利害を有するいかなる集団の偏見もしくは利益を伴わないこと)
健全性	詳細な設計、厳密な方法、有効なツール／指標
モデルの信頼性と有効性	方法論の評価が同様の状況下において予測される影響の一貫性および影響の予測の有効性を示すこと
健康政策策定の根拠	方法論の評価が確実に意思決定に影響することを示すこと
健康影響調査評価者	経歴、経験
費用対効果	

③ HIA の選択基準

分類フレームワークを用いた HIA 文書の検討と分類の結果、以下の項目が基準として選択された。

- ・ 健康政策策定の根拠
- ・ モデルの信頼性と有効性
- ・ 健全性
- ・ 健康影響調査の時期(事前に適用できなければならない)
- ・ 健康影響調査の深度(異なった深度に適用できなければならない)
- ・ 健康影響調査の方法論的視野(質的・量的アプローチが用いられる混合的なものであるべきである)
- ・ 健康影響調査と健康の不平等

④ ドラフト EPHIA 方法論の開発

これらの優先的な基準は、EPHIA の最初のドラフトに取り入れられた。各パートナーは分類フ

レームワークを用いて HIA の手順と方法を確定し、EPHIA のドラフトが作成された。

⑤ 欧州政策選択

ドラフト EPHIA のパイロットケース実施のために、EU の政策として欧州雇用戦略 (EES) (資料 1) が選択された。HIA パイロットケースのための政策の選択を可能とするためには、様々な EU 政策の種類、レベル、活動領域の概略を得ることが重要であった。EU 政策概観は HIA 方法論の調査と同時に行われた。さらに EU 政策展開における意思決定プロセスについても精査された。

EU 政策の 4 つのレベル、すなわち条例、指示、決定および意見／勧告が調査された。この分析によって、条例が HIA にふさわしい政策レベルであると判断された。これは、条例が加盟国の行動なしに共同体全体に適用されるからである。

EU 政策選択プロセスと基準

EU 政策選択プロセスの次の段階は、政策選択基準の開発、優先順位付けおよび適用であった。選択された基準は以下の通りである。

- ・ 根拠: 健康影響調査をサポートする実証的知識根拠が必要である。政策項目に関するデータが得られかつアクセス可能でなければならない。
- ・ 時期: 政策展開段階 (年間政策戦略および作業プログラムサイクルの一部として提出される主要提案) および政策の施行 / 目標期日 (公開: 10 年以下)
- ・ 複雑さ: 方法論の試験に適切な中間レベルの複雑さ
- ・ 公共の利益に関する項目: 議題にはなるが意見の分かれぬもの
- ・ 関連性: 項目は全ての加盟国に関連すべきである。

政策選択基準に関する合意がまとまると、パイロットケースのために最も重要な基準は時期および根拠であるという点において合意が成立した。政策は既に施行されたものであってはならず、また提案された政策と公共の健康という結果の間に実証的根拠が認められるべきである。10 の政策からなる短いリストが確定され、この中から、欧州雇用戦略が EPHIA のパイロットケースとして選択されたのである。

⑥ 欧州雇用戦略における HIA パイロットケース